

平成27年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成26年11月6日

上場会社名 日本パレットプール株式会社

上場取引所 東

URL http://www.npp-web.co.jp

コード番号 4690 代表者 (役職名)代表取締役社長 問合せ先責任者(役職名)財務部長

(氏名) 有田 栄一

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 (氏名) 曽我 智樹

TEL 06-6373-3231

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日~平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	明	営業利	J益	経常利	J益	四半期紅	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,109	8.6	123	△31.9	122	△38.9	73	△37.0
26年3月期第2四半期	2,862	△0.8	180	19.6	200	15.2	116	41.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	8.75	_
26年3月期第2四半期	13.89	_

(2) 財政状態

(-) (() -) (() -) (() -)	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,036	3,689	36.8
26年3月期	9,017	3,670	40.7

27年3月期第2四半期 3,689百万円 26年3月期 3,670百万円 (参考)自己資本

2 配当の状況

2. 10 3 07 17 11							
	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
26年3月期	_	0.00	_	7.00	7.00		
27年3月期	_	0.00					
27年3月期(予想)			_	7.00	7.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日~平成27年 3月31日)

								(%表	長示は、対前期増減率)
	売上高	- !	営業利	益	経常和	刂益	当期純	i利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	6,300	8.0	291	△19.7	300	△30.9	170	△28.6	20.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	8,500,000 株	26年3月期	8,500,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	83,459 株	26年3月期	83,337 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	8,416,578 株	26年3月期2Q	8,417,374 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報
(1) 経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
3. 継続企業の前提に関する重要事象等
4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表
(2) 四半期損益計算書
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、消費税率引き上げ後の反動減から持ち直しつつありますが、円安や 夏場の天候不順が消費の回復に水を差したため、企業収益や賃金・雇用環境が堅調であるにもかかわらず、内需の 改善は鈍い動きに止まっております。また、外需についても、国内需要が弱含みで推移していることから輸入が伸 び悩んでおり、輸出も円安の進行にもかかわらず、生産拠点の海外移転等の影響を受けて横ばいとなっておりま す。

このような経営環境のもとで、当社の「一貫パレチゼーション」の主要顧客である石油化学樹脂関連企業向けレンタルは、消費増税の駆け込み需要後も好調を持続し、前年同四半期の取引額を上回りました。その他一般顧客向けのレンタル需要も堅調に推移したため、レンタル売上高は全体で増加しました。販売売上高はわずかに減少したものの、当第2四半期累計期間の売上高総額は31億9百万円(前年同四半期比8.6%増)となりました。

費用面につきましては、レンタル需要増に対応したパレット・機器の購入数量の増加や購入単価の上昇による減価償却費の負担増、並びにパレット運用コストの増加等により、営業費用は29億86百万円(前年同四半期比11.4%増)となりました。

この結果、営業利益1億23百万円(前年同四半期比31.9%減)、経常利益1億22百万円(前年同四半期比38.9%減)、四半期純利益73百万円(前年同四半期比37.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ10億19百万円増加し、100億36百万円となりました。 現金及び預金及びレンタル未収金ほか流動資産が1億74百万円、貸与資産ほか固定資産が8億44百万円、買掛金ほか流動負債が3億43百万円、長期借入金ほか固定負債が6億58百万円増加いたしました。また、純資産は前事業年度末に比べ18百万円増加の36億89百万円となり、自己資本比率は36.8%となりました。

②キヤッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が1億22百万円となったほか、減価償却費11億32百万円などにより10億41百万円の収入(前年同四半期比1.8%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより18億71百万円の支出(前年同四半期比190.0%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入による収入55億30百万円、借入金の返済による支出44億99百万円及び配当金の支払い58百万円などにより、8億75百万円の収入(前年同四半期は4億82百万円の支出)となりました。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

消費増税の反動減の影響等により事業環境は先行き不透明な状況にありますが、当社の第2四半期累計期間におけるレンタル売上は当初予想を上回り好調に推移しており、レンタル需要は年間を通じて増加基調が続くものと予想し、平成26年8月6日に公表いたしました業績予想数値から売上高を上方修正いたしました。

なお、レンタル需要増に対応してパレット・機器への積極的な投資を行っている関係から、減価償却費の上昇が 業績の押し下げ要因となっておりますが、レンタル売上の拡大とともにパレット運用の効率化を一層推進すること により、当初の通期予想利益を確保する見込みであります。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等 該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

		(単位:千円
	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	521, 377	566, 95
受取手形	20, 420	14, 38
レンタル未収金	628, 358	711, 89
売掛金	85, 886	103, 28
有価証券	10, 226	10, 22
その他	86, 065	120, 54
貸倒引当金	△224	$\triangle 25$
流動資産合計	1, 352, 110	1, 527, 04
固定資産		<u> </u>
有形固定資産		
貸与資産		
賃貸用器具(純額)	6, 564, 242	7, 388, 1
貸与資産合計	6, 564, 242	7, 388, 19
社用資産	0,001,212	1,000,10
建物(純額)	147, 619	145, 4
土地	483, 126	483, 1
その他(純額)	115, 016	128, 9
社用資産合計	745, 762	757, 5
有形固定資産合計	7, 310, 004	8, 145, 6
無形固定資產	91, 351	87, 7
投資その他の資産	91, 001	01, 1.
投資をの他の資産 投資有価証券	200, 086	207, 6
び 見 行 間 証 分 その 他	63, 942	69, 2
貸倒引当金	\(\triangle 414\)	∆3
りゅうのは 投資その他の資産合計	263, 615	
		276, 4
固定資産合計	7, 664, 970	8, 509, 8
資産合計	9, 017, 081	10, 036, 9
負債の部		
流動負債	1 001 570	1 017 0
買掛金	1, 031, 579	1, 217, 0
短期借入金	1, 030, 000	1, 030, 0
1年内返済予定の長期借入金	788, 602	1, 040, 2
リース債務	195, 525	203, 3
未払法人税等	93, 628	62, 3
引当金	38, 334	42, 8
その他	119, 453	44, 25
流動負債合計	3, 297, 122	3, 640, 1
固定負債		
長期借入金	1, 393, 662	2, 172, 4
リース債務	591, 096	486, 9
引当金	17, 166	14, 4
長期未払金	15, 600	1, 6
資産除去債務	31, 523	32, 2
固定負債合計	2, 049, 047	2, 707, 7
負債合計	5, 346, 170	6, 347, 8

(単位:千円)

		(辛匹・111)
	前事業年度 (平成26年 3 月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	767, 955	767, 955
資本剰余金	486, 455	486, 455
利益剰余金	2, 414, 698	2, 429, 465
自己株式	△17, 332	$\triangle 17,357$
株主資本合計	3, 651, 775	3, 666, 517
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19, 135	22, 519
評価・換算差額等合計	19, 135	22, 519
純資産合計	3, 670, 910	3, 689, 037
負債純資産合計	9, 017, 081	10, 036, 918

(2) 四半期損益計算書 第2四半期累計期間

		(単位:千円)
	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	2, 862, 225	3, 109, 091
売上原価	2, 229, 188	2, 536, 777
売上総利益	633, 036	572, 314
割賦販売未実現利益繰入額	5, 760	1, 901
割賦販売未実現利益戻入額	2, 533	1, 644
差引売上総利益	629, 809	572, 058
販売費及び一般管理費	449, 156	448, 976
営業利益	180, 652	123, 081
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	1,820	2, 920
紛失補償金	41, 366	16, 629
その他	8, 032	9, 975
営業外収益合計	51, 239	29, 545
営業外費用		
支払利息	31, 248	30, 088
営業外費用合計	31, 248	30, 088
経常利益	200, 643	122, 537
税引前四半期純利益	200, 643	122, 537
法人税、住民税及び事業税	66, 555	58, 102
法人税等調整額	17, 161	△9, 249
法人税等合計	83, 717	48, 853
四半期純利益	116, 925	73, 684

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	200, 643	122, 537
減価償却費	922, 397	1, 132, 230
賞与引当金の増減額 (△は減少)	$\triangle 3, 112$	4, 554
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	962	$\triangle 2,677$
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△639	△38
受取利息及び受取配当金	△1,840	△2, 940
支払利息	31, 248	30, 088
固定資産除却損	44, 298	8, 802
売上債権の増減額(△は増加)	6, 975	△97 , 431
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,814	$\triangle 8,639$
仕入債務の増減額(△は減少)	414	6, 425
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減 少)	△43, 156	△37, 530
その他	△45, 245	△557
小計	1, 111, 132	1, 154, 822
利息及び配当金の受取額	1,833	2, 932
利息の支払額	△30, 906	△31, 370
法人税等の支払額	△58, 985	△84, 913
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 023, 075	1, 041, 471
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△45, 000	△45, 000
定期預金の払戻による収入	45, 000	45, 000
投資有価証券の取得による支出	△500	△500
有形固定資産の取得による支出	△635, 583	$\triangle 1,829,274$
無形固定資産の取得による支出	△5, 380	△38 , 231
その他	△3, 664	$\triangle 3,073$
投資活動によるキャッシュ・フロー	△645, 128	△1, 871, 079
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3, 780, 000	4, 030, 000
短期借入金の返済による支出	△3, 780, 000	△4, 030, 000
長期借入れによる収入	200, 000	1, 500, 000
長期借入金の返済による支出	△425, 290	△469, 594
ファイナンス・リース債務の返済による支 出	△198, 441	△96, 273
配当金の支払額	△58, 921	△58 , 916
自己株式の増減額(△は増加)	<u> </u>	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482, 652	875, 190
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△104, 706	45, 582
現金及び現金同等物の期首残高	485, 704	382, 705
現金及び現金同等物の四半期末残高	380, 997	428, 287

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。